

事務事業評価シート

(平成 26 年度実施事業)

事務事業名	いわて雪まつり事業			事業コード	1559
所属コード	132000	課等名	観光課	係名	観光推進担当
課長名	小笠原 千春	担当者名	押川 勇貴	内線番号	3726
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要（旧総合計画体系における位置づけ）

総合計画 体系（旧）	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード	4
	基本事業	観光交流の推進	コード	1
予算費目名 (H26)	一般会見 7 款 1 項 3 目 まつりイベント事業（004-01）			
特記事項 (H26)				
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度		開始年度	年度
根拠法令等 (H26)				

(2) 事務事業の概要

小岩井農場まきば園を主会場として開催される「いわて雪まつり」の雪像のうち、当市制作分の雪像について制作を委託する。また、岩手の冬季観光の開発と振興を図り、健全なレクリエーションの場を提供することを目的とする「いわて雪まつり」の開催経費の一部を負担する。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

「いわて雪まつり」の実施により、市民への健全なレクリエーションの場を提供するとともに、冬季観光振興の観点からも盛岡広域への観光客誘致を図ろうとしたことによる。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

- ・余暇時間の拡大や高齢者の増加などにより、グリーンツーリズムなどの体験型観光や、個性的で特色のある都市を対象にした都市型観光などが注目されている。
- ・新幹線延伸等、交通網整備による観光客誘致の一層の促進。
- ・東日本大震災以降、激しく落ち込んだ外国人観光客の入込客数は回復傾向にある中、新たなエリアからの誘客促進も必要とされる。

2 事務事業の実施状況（Do）・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）対象（誰が，何が対象か）

市民，観光客

（2）対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 見込み	26 年度 実績
A 観光客入込数	万人回	466	471	472	490	497
B 盛岡市民	万人	30	30	30	30	30
C						

（3）26 年度に実施した主な活動・手順

当市制作の雪像分について小岩井農牧株式会社に制作委託し，まつりの賑わいを創出した。

また，いわて雪まつり実行委員会に行事負担金を交付し，まつりの円滑な運営に資するとともに，市広報，市公式ホームページ等で周知宣伝を行い，まつり会場及び盛岡広域への誘客を図った。

（4）活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 周知宣伝する媒体数	誌等	2	3	3	2	2
B 当市制作の雪像数	基	1	1	1	1	1
C 全体雪像制作数	基	16	15	15	15	11

（5）意図（対象をどのように変えるのか）

岩手の冬季観光の開発と振興を図り，市民に健全なレクリエーションの場を提供するとともに，観光客を誘致する。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 観光客入込数	■上げる □下げる □維持	万人 回	466	471	472	490	497
B いわて雪まつり入場者数	■上げる □下げる □維持	千人	247	292	295	300	227
C	□上げる □下げる □維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 計画	26 年度 実績
事業費	①国	千円					
	②県	千円					
	③地方債	千円					
	④一般財源	千円	900	900	900	900	900
	⑤その他()	千円					
	A 小計 ①～⑤	千円	900	900	900	900	900
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	48	48	48	48	48
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	192	192	192	192	192
計	トータルコスト A+B	千円	1,092	1,092	1,092	1,092	1,092
備考							

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

祭り・イベントの接客は、盛岡市への観光客入込みの重要な部分を占めており、整合性が図られている。

② 市の関与の妥当性

冬を代表するイベントとして、市の観光振興及び事業効果が多方面に波及するため、妥当である。

③ 対象の妥当性

市民への健全な行楽の場の提供と観光客誘致を兼ねているため、妥当である。

④ 廃止・休止の影響

盛岡広域を代表する冬の集客イベントであるため、観光客数減少が見込まれ、大きな影響がある。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

広告宣伝をさらに効果的に行うことにより、観光客像に結びつける余地がある。

(3) 公平性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

イベント開催時期が冬季に限定されること及びイベント開催場所是不特定多数が出入りできる場所であるため、公正である。

(4) 効率性評価

近年経費を削減しており、必要最低限の費用で事業展開をしているほか、イベントの実施については実行委員会が行い、当市では負担金交付事務、雪像制作委託契約事務、周知宣伝等必要最小減の業務のみ行い、現在発生している人件費も必要最低限で対応している。

4 事務事業の改革案（Plan）・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要（新しい総合計画体系における位置付け）

総合計画 体系（新）	施策（方針）	観光の振興	コード	24
	小施策（推進項目）	観光情報の発信と観光客誘致の推進	コード	24-1

(2) 改革改善の方向性

観光客による経費の一部負担（入場料等徴収）を導入した場合、事業収入の増加によりさらに良い雪像の制作や、より内容の充実した雪まつり行事を開催できる余地があり、また、それにより観光客増になる可能性がある。屋外のイベントであるため観光客の滞在時間が短い傾向にあるため、長時間滞在できるような施設や空間を提供することで、観光客の増加が見込まれる。

(3) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

観光客による経費の一部負担を実施した場合に、それに見合う魅力を作り出さなければならず、また、スキー客の減少傾向が続いている現状に照らせば観光客減も懸念されることから、実施には相当の検討を要する。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 今後の方向性

- ☐ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- ☒ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- ☐ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

事業をさらに魅力あるものとし、効果的なPRなどにより集客力向上を図るとともに、事業拡大のための事業収入の確保について検討する。